

授業科目 社会福祉援助技術演習 I

科目コード番号

【担当教員名】 山手茂 伊東正裕、豊田保、伊藤富士江、 柴山悦子、丸田秋男、松井奈美、横山豊治、 広瀬清人	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

社会福祉援助技術演習は、社会福祉にかんする理論的学習をもとにして現場実習の体験と関連させながら、実践的な援助技術を習得することを目的としている。社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導などを含めた演習形態によって学習する。

<学習目標>

1. 基本的な社会福祉援助技術を習得する。
2. 社会福祉に必要な「感性」や「実感」をグループ学習の中で培う。
3. 1年次、2年次の講義における理論的学習を実践につなげる主体的な学習能力を養う。
4. 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ Aにおいて学んだことを振り返り、実習Ⅱ Bに向けての課題を明確化する。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	オリエンテーション	社会福祉援助技術演習の意味と位置付けを理解する	全体講義
2	実習Ⅱ Aの振り返り	現場実習を報告し合い、課題の達成度について検討する	グループ学習
3	自己理解	自己理解と自己覚知について体験する	グループ学習
4	他者理解	「相手の立場に立って考える」ことを習得する	グループ学習
5	コミュニケーション	対人援助場面における言語的・非言語的コミュニケーションについて理解する	グループ学習
6	ロールプレイング(1)	現場実習において困った体験場面をロールプレイングする	グループ学習
7	ロールプレイング(2)	現場実習での困った体験場面のロールプレイングについて検討する	グループ学習
8	面接の技法	基本的な面接技法(聴く・問う・伝える)を習得する	グループ学習
9	マッピング技法	エコマップの書き方を習得する	グループ学習
10	記録の技法	小事例をもとにして社会福祉における記録の仕方の基本を習得する	グループ学習
11	当事者の記録	「当事者」の記録を利用することの意義について学ぶ	グループ学習
12	事例研究(1)	現場実習での印象的な場面を再現し分析する	グループ学習
13	事例研究(2)	現場実習での印象的な場面の分析について検討する	グループ学習
14	まとめ	現場実習と演習をとおして学んだことをまとめ、実習Ⅱ Bの準備をする	グループ学習

【評価方法】

出席状況、受講態度、レポート等により総合評価する。

【履修上の留意点】

社会福祉援助技術現場実習Ⅱ Aにおけるグループが、原則的に本演習Ⅰのグループとなる。各担当教員によって内容の変更があるので、担当教員の指導にそうこと。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	統一的に指定はしないが、担当教員によっては指定することがある。			
参考書	『社会福祉援助技術演習』	久保紘章編	相川書房	1996年1月 2,000円
その他 (プリント等)	必要に応じてプリントを配布する。			